

# 市民と議会

つながる

多摩市写真連盟

たま市議会だより  
編集会議

多摩市写真連盟の  
みなさんにお聞きしました



8月29日(金)午後、写真愛好家のサークル「多摩市写真連盟」(多摩市文化団体連合所属)のみなさんと、たま市議会だより編集会議のメンバーとで懇談し、活動の内容や面白さ、ご苦労されていることなどについてお聞きしました。

**議会だより編集会議(以下、編集会議)**：まず、写真連盟発足の経緯、メンバーなどについてお聞かせください。

**多摩市写真連盟(以下、写真連盟)**：2年前に発足したばかりです。今までいろいろな所で写真クラブがあることはわかつっていましたが、なかなかお互いが知り合う機会がありませんでした。団体が集まって一緒に写真展を開催したら面白くなるのではないか、という思いがあって写真連盟を立ち上げ、活動しています。



## アマチュアからプロまで 写真好きが集まっています！

**写真連盟**：現在は団体が3グループ、個人で活動している方も含めると会員数としては50名くらいです。アマチュアからプロまでさまざまな人がいます。写真好きな人が集まって楽しく活動しています。会員募集中です。

**編集会議**：どんな活動をされているのですか？

**写真連盟**：市内にあるパルテノン多摩などの会場を借りて市民写真展を行っています。写真を見てもらうだけでなく、市民参加型の写真展にしたいと思い、写真展を見に来てくださったお客様に「気に入った作品にシールを貼っていただく」という取組みも行っています。



## 工夫した写真展示会、 撮る楽しさを分かち合う

**写真連盟**：昨年は市長にもお越しいただきシールを貼っていただきましたが、今後も市民のみなさまに楽しんでいただけるような展示会にしていきたいと思います。

**編集会議**：写真展の開催で苦労されていることはありますか。

**写真連盟**：展示スペースや発表の場が限られているので会場を探すのがたいへんです。会場費もけっこうかかります。写真展といつても堅苦しいものではなく、スマホで撮った写真を家庭用プリンターで印刷したものでも十分ですし、額も好きなものを使えます。初心者でも気軽に参加できるよう工夫しています。

写真の展示会だけでなく、その前段階である撮る楽しさも分かち合いながら写真を通して人と人とがつながるなど、地域の活性化にもつなげていきたいと思っています。



多摩市写真連盟の方の作品 作品名「キジバトの水浴び」

**編集会議**：『議会だより』の表紙写真を公募していますが、応募が増えるように何かアドバイスはありますか。

**写真連盟**：たとえば、スマホで撮った写真でもいいと一言記載したり、高齢者の方が応募しやすい方法を工夫すると応募のハードルが下がるのではないかでしょうか。

**編集会議**：きょうは貴重なお話をありがとうございました。これからもご活躍ください。

**写真連盟**：ありがとうございました。